

1. パーソナリティ特性論の5因子(ビッグファイブ)

外向性 ② 調和性(協調性) ③ 誠実性 ④ 情緒安定性(神経症的傾向) ⑤ 経験への開放性

2. 心身症・・・発症や経過に心理社会的因子が密接に関与する病態

3. カウンセリングの諸理論(※語群は過去に出題されたキーワード!)

- ①論理療法→ エリス、非合理的信念、論駁、行動指示技法、ラショナルビリーフ、REBT
- ②実存分析→ フランクル、実存哲学、ロゴセラピー
- ③交流分析→ バーン、ストローク、ディスカウント、脚本、相補的交流、構造分析、ゲーム
- ④来談者中心療法→ ロジャーズ、共感的理解、共感、ストランズ、現象学、自己概念、非指示的、実現傾向
- ⑤行動療法→ ウォルピ、逆制止療法、シェービング、学習、強化、対症療法
- ⑥ゲシュタルト療法→ パールズ、エンプティチェア、図と地の反転、まとまりのある構造
- ⑦現実療法→ グラッサー、3つのR
- ⑧家族療法→ 一般システム論
- ⑨森田療法→ 森田正馬、精神交互作用
- ⑩短期療法→ ド・シェイザー・バーグ、解決志向アプローチ

4. パーソナリティ形成の諸説

- ① 輻輳説→ シュテルン ② 層理説→ ゴットシャルト ③ 環境閾値説→ ジェンセン

5. 成人期(中年期)のパーソナリティ

- ① 人生の午後 ② 中年の危機

6. カウンセリングの目標 ※テキスト P66

- ①クライアントの人的成長 ② 豊かな社会生活の実現 ③ 諸問題の予防と解決

7. 倫理綱領

- ①人間尊重 ② 勤労者 ③ 専門的 ④ 勤労者

8. 防衛機制

- ① 逃避 ② 退避 ③ 現実への逃避 ④ 空想への逃避 ⑤ 病気への逃避 ⑥ 抑圧 ⑦ 置き換え
- ⑧ 摂取 ⑨ 投射(投影) ⑩ 反動形成 ⑪ 合理化 ⑫ 昇華 ⑬ 逆転移 ⑭ 補償 ⑮ 同一視

9. キャリアガイダンスの6分野

- ①自己理解 ② 職業理解 ③ 啓発的経験 ④ カウンセリング ⑤ 方策の実行 ⑥ 方策の実行
- ⑥フォローアップ

10. キャリアガイダンスの6分野

マズローの欲求階層説 A. 自己実現の欲求 B. 安全の欲求 C. 生理的欲求

アルダーファのERG理論 D. 成長欲求 E. 関係欲求 F. 生存欲求

11. カウンセリングの各段階

- ① リレーションづくり ② 問題の把握 ③ 目標の設定 ④ 目標の達成